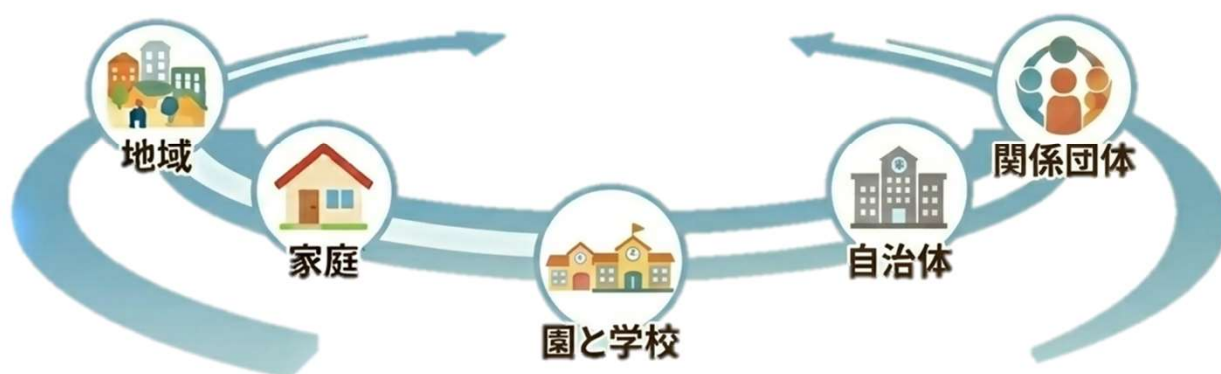




～架け橋プログラムとは～

幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培うかけがえのないものです。全ての子どもに等しく機会を与えて、大切に育てていくことが求められます。また、幼児期には遊びを通して小学校に生きる学びの芽生えを培い、小学校においてはその芽生えを更に伸ばしていくことが必要です。そこで5歳児から小学校1年生の2年間で「架け橋期」として焦点を当て、この時期の教育の充実を目指します。幼稚園・保育所・認定こども園・小学校はもとより家庭、地域、関係団体、地方自治体など子どもに関わる全ての関係者が立場を越えて「連携・協働」していきます。大人たちが手を取り合い、富士市の子どもたち一人ひとりのウェルビーイング(心豊かな幸せ)を高めていきましょう。



園小を滑らかにつなぐ富士市架け橋プログラム

架け橋プログラムの取組

- 各中学校区における校長園長懇談会の開催
- 保育者と教職員の顔の見える関係づくり、情報交換
- 園小合同研修(授業・保育参観を通しお互いの教育保育理解)
- 架け橋カリキュラム(園・小学校)の作成・実践・評価 ※Point2へ
- 園児と児童・生徒の交流の促進、教育課程への位置づけ
- お便りの発信・地域の方々との交流(行事等への参加・あいさつ交流)
- 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)
- 「園小中連携の施策」第二次富士市教育振興基本計画より

育ちの木(学びの連続性)

～遊びという「根っこ」が一生ものの「学び」を支える～

高校生

社会人

大学生

中学生

小中一貫教育

小学生

架け橋期の教育

乳幼児

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿は、小学校生活の土台となります。
園生活を通して育まれたこれらの力を、小学校への豊かな育ちにつなぎましょう。



幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)



架け橋カリキュラムを通して対話を深めましょう

園から小学校へ進む子どもたちが、安心して学校生活を始められるよう、園の保育者と小学校教員が協働して作成するカリキュラムです。

幼稚園・保育園・こども園等

幼児期の学びが小学校以降の生活や学習で生かされ、滑らかにつながるように工夫したカリキュラム



架け橋カリキュラム例(園)

架け橋期

年長(5歳児)と小学校1年生の2年間

小学校

幼児期の学びを生かしながら主体的に学ぶ力を育むことをねらいとしたカリキュラムと週案



架け橋カリキュラム例(小学校) 週案

5歳児から小学校1年生の2年間について、カリキュラムの編成等を手立てとして、育みたい資質・能力や遊び・学びのプロセスと教育活動について、相互理解を図ることを目指します。園小を滑らかにつなぐためには、子どもの成長を切れ目なく支える観点から幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との協働が大切です。カリキュラムのモデル版が二次元バーコードから読み込めます。園での「大好き!」や「得意なこと」を小学校の授業に活用しましょう。

富士市架け橋プログラムを進めることでいいこといっぱい!

- 子どもが安心して小学校生活をスタートできる
- 子どもたちが「やってみたい」「もっとやってみたい」と、主体的に学びに向かう力が育まれる
- 「私っていいな。」と自分の“好き”や“得意”を見つける
- 子どもの笑顔が保護者の笑顔につながる
- 保育者と小学校教員がお互いの考え方を理解し、教育の質が向上する



幼児期の大切な学びがわかる動画シリーズと園小のつながり資料



幼児教育は何のため?
(約2分)



「遊び」は「学び」って
どういうこと?
(約7分)



幼児教育と小学校教育が
つながるって
どういうこと?
(資料)



遊びは学び! 「靴とり鬼」からつなぐ、子どもの姿の見取り方

靴とり鬼

クラスの友達と靴とり鬼をして遊んでいます。
鬼にタッチされると靴の片方を中央の陣地に奪われ、ケンケンをして逃げなければならないスリリングな鬼ごっこです。2回タッチされて両方の靴を奪われるか、仲間の友達が隙を見て靴を取り戻してくれるか、どうなるのでしょうか?!



写真から読み取れる園での子どもの姿を、幼児期の終わりまでに育てほしい姿に価値付け、小学校教育とのつながりについて表してみました。



「タッチ!靴が増えたよ。取られないようにしなきゃ。」

10の姿:靴を守ろうと心と体を働かせる。
必要感をもって数量をとらえる。



「私が○ちゃんの靴を取ってくるからね!先生、見てて。」

10の姿:自分の力でやってみようとする。
役に立つ喜びを感じる。



「今日は鬼の人数を増やそうよ!」「いいね! 2人がいいな。」

10の姿:必要に応じてルールを変えようとする。
友だちと相談して解決しようとする。



体育科:運動遊びの楽しさに触れる。
算数科:ものの数に着目し、数の数え方を考える。
特別活動:集団の中でより良い人間関係を築く。

生活科:意欲と自信をもって生活する。
道徳科:友達と仲良くし、助け合う。
体育科:意欲的に運動する。

国語科:人との関わりの中で、自分の思いや考えをもつ。
体育科:運動遊びの行い方を工夫する。
道徳科:約束やきまりを守る。

幼児教育

小学校教育